

弊社事業のご紹介

2023年9月

合同会社オリビアス

<https://www.oliveious.net>



1. 弊社の事業コンセプトとビジネスモデル

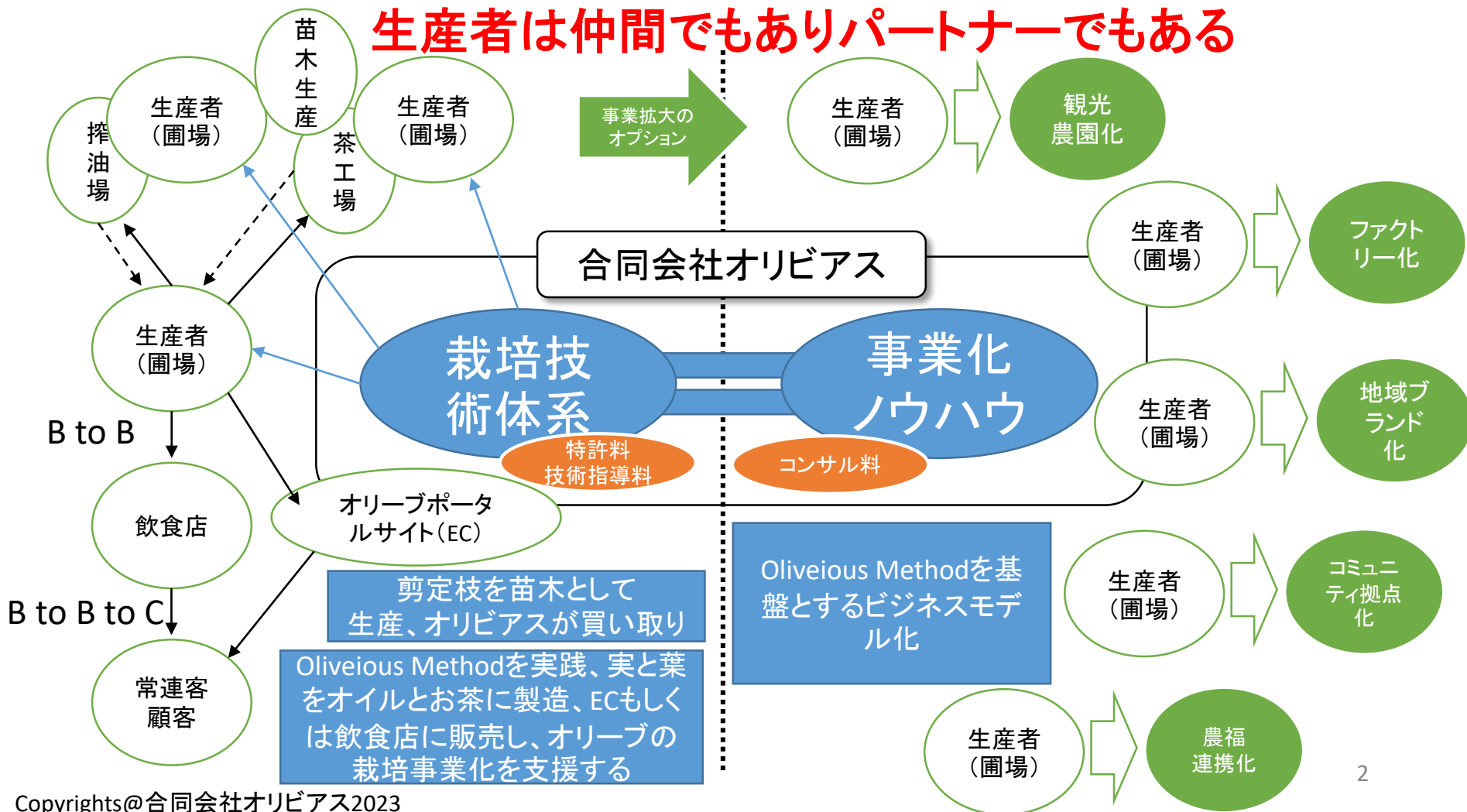
事業コンセプト

オリーブ矮化栽培技法Oliveious Methodを中核として、仲間とともに国産無農薬オリーブ事業を広める
Oliveious:オリビアスとは「オリーブを愛する仲間たち」の意味

ビジネスモデル

オリーブ事業の新たなエコシステムを創造します

生産者は仲間でもありパートナーでもある



2. オリーブ業界動向と課題

業界動向

<業界動向>

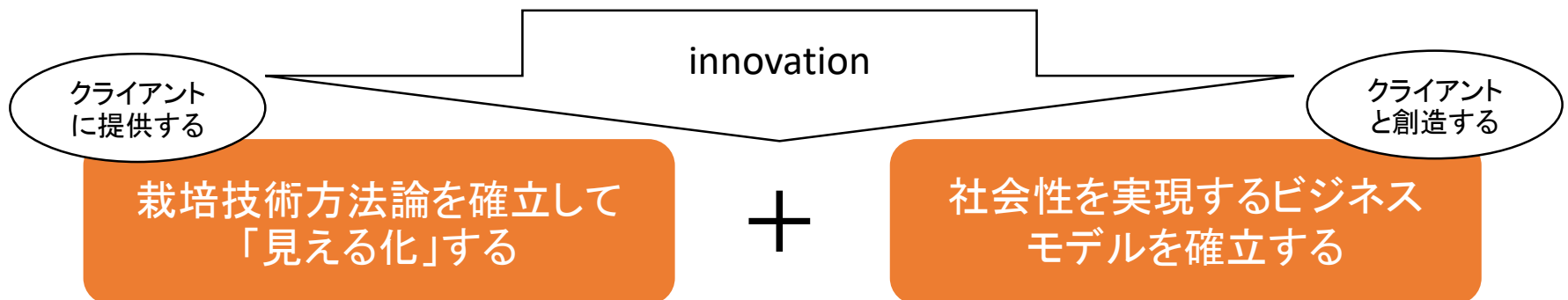
- ①国内標準・・・日本のオリーブ産地は小豆島。全国でオリーブ栽培が広がりつつあるが、オリーブ栽培を始めるに際してまず小豆島から学ぶ、独自に勉強することから始めているのが大部分。結果、**小豆島方式を全国どこでも実施することになり、詳細な事業計画を立案することなく栽培を開始している人が多い。**
- ②「収益性」と「社会性」・・・オリーブは平和の象徴とも言われ、常緑で成長が早い樹なので景観対策、ガーデニングとしての利用シーンが多いという「社会性」に富む植物。一方、果樹としてオリーブ実を絞ってオリーブオイルにするビジネスとしての「収益性」という面からは低い（結実までには定植してから5年程度の時間を要する場合が多い）と言わざるをえない。

<オリーブ栽培が国内で広まらない理由>

- ①**収益性が低い(あまり儲からない)**
- ②栽培は「楽」と言われるのでとりあえずやってみることから始めて結果、失敗する(**技術がない、学ぶ場がない**)

<革新のポイント>

- ①より「収益性」を高める技術確立する
- ②社会性も実現させるビジネスモデル確立する



オリーブ矮化栽培技法 Oliveious Method

特徴

矮化密植栽培技法(小豆島4本⇒弊社16本 ※1^{アール}あたり)

収穫までの時間がより早くなり、単位当り生産性が高まる

より早く、より
確実に「実」
ができる

矮化栽培の定義と効用

- ①大木(5m以上)ではなく、矮化(わいか:小さく)で樹高は2m程度
- ②単位面積あたり定植本数を増やすことができる
- ③手の届く範囲で作業をすることができる(安全性、効率性)
- ④整枝剪定技術により計画的に結実させることができる

弊社独自の整枝・剪定メソッド(特許技術含む)

Oliveious Methodの価値



農地

元水田の耕作放棄地でも栽培ができる

寒冷地

寒冷地でも栽培ができる

矮化

高所での作業がなく安全にできる

標準化

農業が素人でも栽培ができる

共有化

ノウハウを共有化できる

3. コアコンピタンス(弊社の中核リソース:栽培モデル)

露地栽培と施設栽培

寒冷地では「施設栽培」で可能となる



地植と鉢植

鉢植は、圃場環境に依存しない



イノベーション

左記の組み
合わせで全国
どこでも栽培
可能となる

どのような技
術の組み合
わせをすれば
どの程度のオ
リーブ事業が
できるのかを
考える